

## 糸島地域 浜の活力再生プランの取組

～糸島地域全体の活性化を目指して～



糸島市地域水産業再生委員会



## 紹介内容

- 1 糸島地区の概要
- 2 糸島地区の浜プラン
- 3 取組と成果
  - ・ハマグリ資源管理と価格向上
  - ・サワラの高鮮度出荷による単価向上と消費拡大
  - ・直接販売による価格向上の取組
  - ・カキの直接販売と資源の再利用
- 4 今後の取組

## 1 糸島漁協の概要 1



## 1 糸島漁協の概要 2

- ▶ 組合員数 395人 (正322人・准73人)
  - ▶ 漁船数 520隻 (2,076トン)
  - ▶ 販売取扱 22億7,990万円、3,120トン
  - ▶ 主な漁業種類 2そうごち網、1そうごち網、釣り、カキ養殖、刺網、採介藻、等
  - ▶ 主な魚種 マダイ、サワラ、マガキ、ウマヅラハギ、ハマグリ、ヒラメ・カレイ類
- (平成30年3月末)



## 2 浜の活力再生プラン

糸島の特徴を活かし、  
組み合わせて取組む！

### 糸島地区の課題 糸島地区浜プラン

漁獲量の減少  
魚価の低迷  
漁業者の減少  
燃油高騰

漁業経営  
厳しい

- 漁業収入の向上
  - 価格向上
  - 販路拡大による直販比率の向上
  - 水産物の消費拡大
  - 資源管理型漁業の推進
- 漁業コスト削減
  - 資源の再利用の取組

糸島地区の活性化  
儲かる漁業へ

## 3-1 ハマグリの資源管理と価格向上の取組

漁業者自らが厳しい資源管理に取組

資源回復！

せっかく増えたハマグリを高く売りたい！

関西への出荷

県内の人にも食べてほしい！

地元でのPR活動

自分たちで値段が決められる！

直接販売

単価向上！

沖の漁業を卒業した高齢者の働く場にも

<厳しい資源管理の内容>

- ・ハマグリ会の会員以外のハマグリ採捕禁止
- ・稚貝の移植放流（高密度域からの分散）
- ・採取期間：11月1日～3月31日の大潮干潮時（月2回、それぞれ7日間、計14日）
- ・操業は1日3時間まで
- ・殻長制限による小型サイズの再放流（殻長50mm未満）※県の規則は40mm
- ・採取は1人あたり10kg/日



<ハマグリ漁獲量と単価の推移>

	平成10年	平成29年
漁獲量	8トン	12トン
単価	1,000円	2,000円

- ・平成16年度農山漁村いきいきシニア活動表彰 水産庁長官賞
- ・第31回全国豊かな海づくり大会功績表彰 団体資源管理型漁業部門 農林水産大臣賞
- ・平成29年度 マリンエコラベルジャパンから認証を受ける

## 3-2 サワラの高鮮度出荷による単価向上と消費拡大

ハマグリ会などの取組に  
触発される

仲間が続け！

県、漁協が、漁業者へ  
高鮮度処理技術を指導

丁寧に処理して、しっかりと冷やして・・・

高鮮度処理を実施

統一規格で岡山へ高鮮度出荷

単価向上

地元でも消費拡大

サワラ高鮮度処理技術の特徴

工程

船上処理

活けしめ

血抜き

冷却・保冷

箱詰め



<<高鮮度出荷時の単価（平成29年度）>>  
通常出荷：981円/kg  
→ 高鮮度出荷：1,156円/kg

流通コスト削減で  
さらに所得up！

## 3-3 直接販売による価格向上の取組

～直売所「JF糸島 志摩の四季」での取組～

- ・糸島で水揚げされる魚介類を地域の人に届けたいという想いから、糸島漁業協同組合が糸島市観光協会と協力し、平成19年に開設
- ・糸島産の農産物や商工品も取り扱う。→異業種連携

糸島地区水産業への影響

販路の選択肢が増加

未利用魚・低価格魚を受入

糸島産水産物の魅力をPR

組合員の漁業経営安定

漁協の組合事業の構築と安定

糸島地域全体への影響

雇用機会の創出

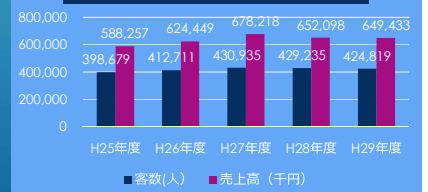
観光客の増加

地域の知名度向上

糸島地域全体の活性化



「JF糸島 志摩の四季」客数及び販売高



## 直接販売の具体的な効果

直売所出荷や  
カキ小屋販売等  
による直販比率  
37%→39%  
(H25) (H29)

### 組合員（小型底びき網漁業者）の声

出荷先を市場から直販に変更したことで  
消費者ニーズに合わせ一次加工とパック  
詰めして直売所に出荷

↓  
パック詰め作業に要する時間を確保する  
ため、4回の曳網を2回に削減

↓  
単価の向上、燃油経費の削減により収益  
変わらず

↓  
海上作業の軽減、資源管理にもつながる

## 3-4 カキの直接販売と資源の再利用

### ①カキ小屋での販売

- ・生産者自らが消費者へ焼きガキを提供する場として平成13年に開設
- ・市や酒造メーカー、交通産業などと連携しPRに取り組む



#### 糸島地区水産業への影響

新規着業者の増加

カキ生産量の増加

後継者の増加

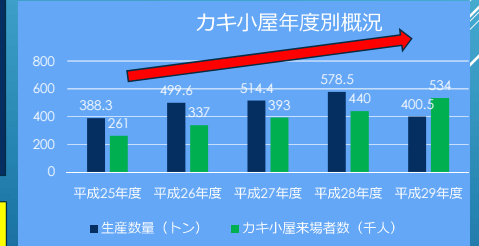
#### 糸島地域全体への影響

雇用機会の創出

観光客の増加

地域の知名度向上

**漁業者の所得向上  
糸島地区全体の活性化!!**



### ②カキ殻リサイクルの取組

- ・地域産業として定着
- ・養殖規模が拡大
- ・生産量が増加するにつれ・・・

- ・カキ殻の増加
- ・処理費用の負担増
- 生産者・自治体の大きな負担に

処理費用を減らせないかな？

糸島学術研究都市推進協議会

県・糸島市・九州大学

カキ殻・リサイクル  
プロジェクト

水産物リサイクル推進協議会

#### カキ殻肥料の開発

J A 糸島

肥料会社

県

#### カキ殻の回収

漁業者

- ・分別ボックスの設置
- ・来客へ分別収集への協力を呼びかけ

有機石灰肥料への活用へ向けた道筋が！

水産業以外の業種と連携し、研究や試験を重ねた結果、  
土壌改良材「シーライム」完成！

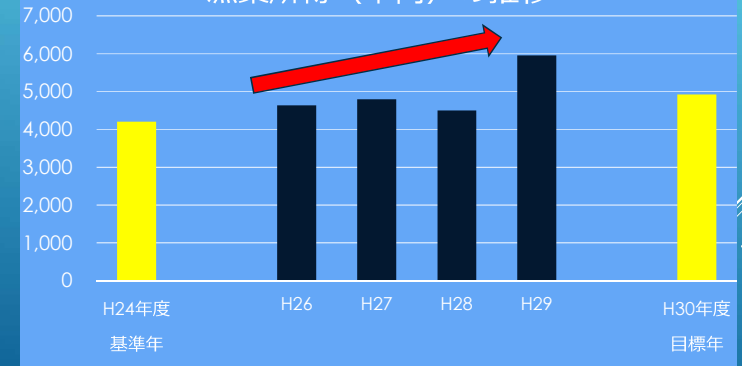
平成25年度全国青年・女性漁業者交流大会  
多面的機能・環境保全部門 水産庁長官賞



**コストの削減  
イメージアップ**

## 所得の向上

### 漁業所得（千円）の推移



## 今後の取組

### ○資源管理

資源の管理と持続的な利用の継続、藻場の維持保全

### ○付加価値向上と販路拡大

直売所の充実 → 糸島は産直の激戦区

直売所を介した県内外のホテル・飲食店への鮮魚販売  
継続できる6次化の検討

### ○コスト削減

カキ殻リサイクルの継続